



若者の皆さまご注意を！ 身近なところに危険がひそんでいます

インターネットやSNSなど、相手の顔が見えない情報があふれるなかで、社会経験の少ない若者が安易に契約し、また利用する過程で思わぬトラブルに巻きこまれてしまうケースが増えています。

今回は、若者に多い「消費者被害」について、悪徳商法の手口やよくあるトラブル事例を紹介します。

事例 1 SNS で安価な医療脱毛の広告が流れたのを見て、無料カウンセリングに行ったが、強引な勧誘が始まり、高額な医療脱毛の契約を断ることができなかった。42 回払いのクレジット契約で、総額約 45 万円となってしまった。クーリング・オフしたい。

ひとことアドバイス

- 安価なプランの広告などを見て、無料カウンセリングを受けようと美容医療クリニックに行き、その場で高額な契約をさせられるケースがあるため注意しましょう。
- 美容目的の施術は、多くの場合、緊急性がありません。「今日契約すれば安くする」などと提案されても、その場での契約や施術はせず、いったん帰宅して冷静に検討しましょう。
- 自分でもリスクや副作用の情報を収集し、医師から説明を受け納得したうえで判断しましょう。
- クーリング・オフができる場合があります。困ったときは、早めに消費生活センター等にご相談ください。



事例 2 リチウムイオン電池の膨張、発煙・発火に注意

スマホ用のモバイルバッテリーがすごく膨らんできていて怖い。廃棄したいが危険性もあるかもしれない。どこに廃棄すべきか。

ひとことアドバイス

- リチウムイオン電池は小型大容量、繰り返しの使用が可能などの利点から、モバイルバッテリーやワイヤレスイヤホン・スピーカーなど、身の回りの様々な商品に搭載されています。しかし便利な一方で電池の発煙・発火事故も発生しています。
- 製造・販売元や型式が明示されていない商品や、仕様が不明確な商品を購入するのは避けましょう。充電器やモバイルバッテリーは、PSE マークの表示を確認しましょう。
- 充電の際は適切な充電器を使用し、もし充電端子が過熱したり異臭がした際は直ちに使用を中止しましょう。
- 落下などで電池に衝撃が加わると、発煙・発火を伴う事故につながる可能性も考えられます。持ち運びや保管の際は取り扱いに注意し、電池に膨張がみられたら使用を控えましょう。
- 廃棄する際は、必ず自治体の分別ルールに従いましょう。取り外し可能なバッテリー等は販売店でリサイクル回収をしてくれる場合もあります。



城里町消費生活センターのご案内

消費生活に関する困りごと、お気軽にご相談ください。
皆さんと一緒に考え、解決のためのお手伝いをします。

【相談日】 毎週 月～金曜日 時間 午前9時～午後4時

【場所】 城里町役場 本庁舎 2階 まちづくり戦略課内

【電話】 029-288-3111 (内線 226)